

そよかぜ

第71号

地方独立行政法人 神戸市民病院機構

神戸市立 西神戸医療センターの基本理念

神戸西地域に根づいた
安心・安全な医療をめざします

発行日／令和7年2月

編集人／鴨川課長補佐

<https://nmc.kcho.jp/>



感染症にご注意を

2020年2月に新型コロナウイルス感染症患者が国内で初めて発生してから5年が経過しました。2023年5月にコロナの感染症法での扱いが5類相当に移行してから徐々に日常生活は回復し、今や街中でもマスクをしている人はまばらになってきています。世間はコロナ前に戻ったかのようにですが、医療のあり方はコロナを機に大きく変わりました。医療機関は感染予防、蔓延防止対策を徹底し、感染症に対して迅速に対応することが求められるようになりました。当院でいまだに院内でのマスク着用をお願いしているのもその一環です。

感染症の流行は終息したように見えても様々な形で繰り返され、流行の度に医療体制の対応力が試される状況です。実際この1年半の間、コロナがくすぶっている中で、次々と既存のウイルス感染症の流行が繰り返されています。特にこの年末年始にはインフルエンザが爆発的に流行し、重症インフルエンザ肺炎を起こしたり持病が悪化して入院が必要になる患者さんが多数発生し、救急医療が逼迫しました。コロナが落ち着いているように見えても、感染症に対する注意は欠かせません。特に持病をお持ちの方にとっては、予防接種の促進や手洗いの徹底、そしてマスクの着用は引き続き重要です。

パンデミック時には医療資源の確保が必要となりますが、新型コロナウイルス感染症初期には対応病床が不足していたという反省点があります。当院では将来起こりうる新興感染に迅速に対応できるよう、救急病棟の大部屋を個室2室に改装し、本年1月から感染症に対応できる陰圧個室を3室から5室に増床しました。今後も当院は感染症の予防と拡大防止のための取り組みを継続してまいります。皆様方も感染流行期には手洗い、マスク着用といった基本的な感染予防対策を心がけください。くれぐれも油断なさいませんように。



副院長

永澤 浩志

神戸市立西神戸医療センター

〒651-2273 神戸市西区糺台5丁目7番地1 TEL: 078-997-2200(代表)

神戸市立 西神戸医療センター外来診療のご案内

1. 診療科目

総合内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、免疫血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、精神・神経科、小児科、外科・消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、形成外科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科

2. 休診日

土曜日・日曜日・祝祭日

年末年始(12/29～1/3)は休診日です。

3. 診療受付時間

診療受付時間は原則 8:45～11:45 です。

「**受診に関する注意点**」をご参照ください。

また、特殊外来は予約制となっております。

4. 診療時間

9:00～17:00

受付 1

免疫血液内科					
診察室	月	火	水	木	金
125	午前 交替 午後 橋本	末 木	新 里	井 本	山 本
112		午前 橋本			
113					午後 交替
脳神経外科					
診察室	月	火	水	木	金
113	午前 細田 午後 蘆田	西 原	午前 蘆田 午後 脳血管内 治療外来	午前 西原 午後 脳腫瘍外来	午前 岩橋
112				午前 交替	
歯科口腔外科					
診察室	月	火	水	木	金
101	岩 城	平 井	岩 城	高橋	平 井
形成外科					
診察室	月	火	水	木	金
121	午前 小熊 午後 宇山	午前 交替	午前 宇山 午後 小熊	午前 小熊 1:30 午後 野村	午前 武馬
112	1:30-5 週 午前 交替				

受診に関する注意点

・糖尿病・内分泌内科、腎臓内科および歯科口腔外科の初診は紹介状持参患者さんのみとなっております。

受付 1

総合内科					
診察室	月	火	水	木	金
114	交替	交替	宮川	宮川	宮川
循環器内科					
診察室	月	火	水	木	金
111	永 澤	吉 開	永 澤	土 岐	大 末
112	午後 交替			午後 交替	
122			鈴 木		斉 藤
脳神経内科					
診察室	月	火	水	木	金
123	石 尾	柳 原	石 尾	柳 原	奥宮
124		竹 島			
糖尿病・内分泌内科					
診察室	月	火	水	木	金
124	孫		孫	藤 原	許 林
腎臓内科					
診察室	月	火	水	木	金
122	午前 垣田 2:40 午後 林田	長谷部		中 田	
112			午後 腹膜透析		垣 田

受付 2

消化器内科					
診察室	月	火	水	木	金
212	安 達	熊 谷	島 田	林	高 田
213	太 田	尾 下	大 島	北 出	井 谷
呼吸器内科					
診察室	月	火	水	木	金
214	桜 井	木 田	多 田	瀬 瀬	佐 藤
215	午前 徳重	三 輪	午前 濱崎	益 田	午前 山本 午後 交替
泌尿器科					
診察室	月	火	水	木	金
201	宮 崎	添 田	1:30-5 週 宮崎 2:40 週 大城	金 丸	添 田
203	平 野	午前 寛 午後 慢性 泌尿器疾患	羽 間	大 城	1:30-5 週 鈿 2:40 週 羽間

受付 3

外科・消化器外科					
診察室	月	火	水	木	金
301	塩田	伊丹	松浦	山本	畑
302	京極	午前 土佐 午後 西崎	横山	住井	吉野
整形外科					
診察室	月	火	水	木	金
303	吉田	伊勢	大谷	吉田	伊勢
304	長田	阿部	交替	阿部	山口
耳鼻いんこう科					
診察室	月	火	水	木	金
311	午前 甲藤 午後 戸田		午前 小西池 午後 戸田		午前 小西池 午後 戸田
312	午前 小嶋 午後 小西池	交替	甲藤	交替	小嶋

受診に関する注意点

- ・耳鼻いんこう科の初診は紹介状持参患者さんのみとなっております。

受付 4

眼 科						
診察室	月	火	水	木	金	
402	三 河	堤 野	三 河	貴 志	野 田	
403	貴 志	交 替	野 田	交 替	堤 野	
小 児 科						
診察室	月	火	水	木	金	
411 (午前)	山 口	松 原	川 崎	堀	岩 田	
411 (午後)	アレルギー外来②	乳児検診	小児神経	アレルギー外来①	心臓外来	
413 (午前)	平 海	青 田	久 保	内 藤	仲 田	
413 (午後)	慢性疾患外来①	乳児検診	未熟児外来	予防接種 アレルギー外来③	慢性疾患外来②	
皮 膚 科						
	診察室	月	火	水	木	金
初 診	420	明 石	石 川	福 田	鷲 尾	吉 田
再 診	421	鷲 尾	吉 田	明 石	釜 田	石 川

受診に関する注意点

- ・眼科の初診は紹介状持参患者さんのみとなっております。
- ・皮膚科の水曜日の初診は紹介状持参患者さんのみとなっております。

受付 5

精神・神経科					
診察室	月	火	水	木	金
501			杉本		
502	1・3・5週 午前 内田 2・4週 内田	奥小路	植本	内田	午前 奥小路
503	岡田		山木		

その他の 注意点

- ① 1人2科まで受診できます。
- ② 健康診断（就職・進学用のみ）は、電話予約のみ受付しております。
健診内容等によりお受けできない場合があります。（海外留学用は行っておりません。）
- ③ 初めのご来院、または月初めにご来院される際は、保険証をご持参ください。
- ④ 外来受付時間及び担当医師は変更する場合があります。

※院内にも車イスは若干数ございますが、車イスをお持ちの方はご持参いただきますようお願いいたします。

受付 5

産婦人科					
診察室	月	火	水	木	金
511	午前 別宮 午後 濱田	佐原	竹内	交替 (~14:00)	午後 一宮
512		別宮	午前 濱田 午後 小菊		午前 一宮 午後 森上
513	竹内	森上	近田		小菊

受診に関する注意点

- ・精神・神経科は再診患者さんのみとなっております。
- ・産婦人科512室の診療は再診の予約妊婦さんのみとなっております。

受付 6

免疫血液内科					
診察室	月	火	水	木	金
604		大西			
602					市川
腫瘍内科					
診察室	月	火	水	木	金
602				午前 南	
消化器内科					
診察室	月	火	水	木	金
601				午後 榎田	三谷
緩和ケア内科					
診察室	月	火	水	木	金
602	午前 安藤	午後 安藤	午前 安藤	午後 安藤	
呼吸器外科					
診察室	月	火	水	木	金
603					午後 足立
604	本山		中西		大政
乳腺外科					
診察室	月	火	水	木	金
601			何 / 奥野		
603	何 / 奥野		奥野 / 何	何 / 奥野	午前 奥野 / 何
放射線診断科					
診察室	月	火	水	木	金
604				午前 桑田	
地下診察室2	交替	交替		交替	交替
放射線治療科					
診察室	月	火	水	木	金
地下診察室1	水沼	田中	河邊	妹尾	河邊
循環器内科					
診察室	月	火	水	木	金
601	内田				
糖尿病・内分泌科					
診察室	月	火	水	木	金
601		午後 内山			

受診に関する注意点

- ・乳腺外科は完全予約制となっております。
- ・放射線診断科の地下診察室2は医療機関から地域医療室を通じて検査予約を取った患者さんのみとなっております。

外来診療受付時間のご案内

令和7年2月

1. 外来診療受付時間は AM8:45～AM11:45 となっております。
2. ただし、下記の診療科については外来診療受付終了時間が異なりますのでご注意ください。

受付	診療科	月	火	水	木	金
1	歯科口腔外科	～11:00	～11:00	～11:00	～11:00	～11:00
	脳神経外科	～11:45	～10:30	～11:45	～11:45	～11:45
	形成外科	～11:45	～11:00	～11:45	～11:45	～11:45
2	泌尿器科	～10:30	～10:30	～10:30	～10:30	～10:30
3	整形外科	～10:45	～10:45	～10:45	～10:45	～10:45
	耳鼻いんこう科*	～11:00	～10:30	～11:00	～10:30	～11:00
4	眼科*	～11:00	～10:30	～11:00	～10:30	～11:00
	皮膚科*	～11:00	～11:00	～10:00	～11:00	～11:00
6	免疫血液内科		～10:30			～11:45

※ 初診時に、紹介状の必要な診療科は下記のとおりとなっております。

眼科、糖尿病・内分泌内科、耳鼻いんこう科、皮膚科(水曜日)、歯科口腔外科、腎臓内科

なお精神・神経科は、初診患者さんの診療を行っておりません。

救急外来診療案内

令和7年2月

診療時間外 土・日・祝祭日(全日) 及び 平日(月～金) 17:00～翌9:00	内科系	毎日
	外科系	【外科・消化器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、泌尿器科、形成外科、乳腺外科】のうち毎日1診療科
	小児科	毎日(17:00～24:00)
	眼科 耳鼻いんこう科 皮膚科 放射線診断科 放射線治療科	日※ (9:00～17:00まで) } いずれか1診療科 月・水・金(17:00～翌9:00) } ※日曜日の眼科、耳鼻いんこう科は、10:00～となります。

◎ 診療科は変更となる場合があります。

✿ ご寄付のお願い ✿



新しい医療に対応するためには、常に最新の機器整備をおこなう必要があります。
 そのためには多額の資金が必要となり、財源の確保に日々苦慮しているところです。

皆様に寄付という形で当院の運営に共に携わっていただきたいと思っておりますので、金額の多寡に拘わらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、当院にご寄付いただいた場合は、税制上の優遇措置を受けることができます。

担当：事務局総務課経理契約係 電話 078-997-2200(代表) Fax 078-997-2220

マイナンバーカードについて

令和6年12月2日より、以前の健康保険証は発行されなくなっております。受診される際はマイナ保険証をお持ちいただき、各診察受付に設置しているカードリーダーにて、受診前にマイナ保険証での受付をお願いいたします。

「マイナ保険証」をご利用いただくと、患者の皆さまには次のようなメリットがあります。

- 顔認証付きカードリーダーでご本人確認と保険証の資格確認が一度に完了し、スムーズな受付が可能になります。
- おくすり手帳の内容や特定健診等のデータも連携することができます。
- 高額療養費制度をご利用の場合、「限度額情報を提供する」を選択することにより、保険者に申請していただくなくても制度のご利用が可能になります。

※ただし、公費医療受給者証(指定難病受給者証など)や福祉医療受給者証(こども医療費受給者証など)は引き続きご提示が必要となります。

△ご注意ください! (令和7年1月時点)

令和6年12月2日から
従来の健康保険証は
発行されなくなりました
※令和6年12月2日時点で有効な健康保険証は最大1年間有効です

とってもカンタン! 医療機関等を受診の際は
マイナンバーカード
をご利用ください

1 受付 マイナンバーカードを カードリーダーに 置いてください。 カードリーダーで マイナンバーカードを 保険証として登録 できます!	2 本人確認 顔認証または 4ケタの暗証番号を入力してください。 顔認証 or 暗証番号 顔認証: 顔認証カメラ 暗証番号: 暗証番号入力機
3 同意の確認 診察室等での診療・服薬・健診情報の 利用について確認してください。 同意しない 同意する	4 受付完了 お呼びするまでお待ちください。 カードを忘れずに!

参考:「医療機関・薬局向けリーフレット」
(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/stf/index_16745.htmlより抜粋



各診察受付にマイナ保険証
のカードリーダーを設置し
ています。受診前に受付を
お願いいたします。



受診の際は**マイナ保険証**で!



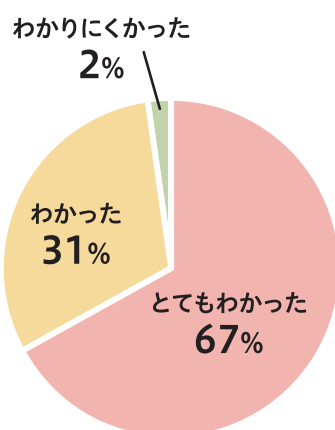
がん市民フォーラムを開催しました

11月16日（土）に「第28回がん市民フォーラム in KOBE」を開催しました。今回は「肝がん」をテーマに、当院消化器内科高田医師より肝がんの病態と内科治療、放射線診断科富松医師よりカテーテル治療、外科・消化器外科畑医師より手術療法についての3講演を行いました。当日は現地47名、Web25名の72名の方にご参加いただきました。ご参加いただいた方々、ありがとうございました。

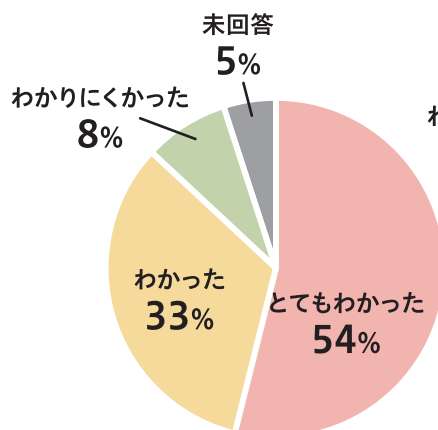
アンケート結果（一部抜粋）

Q. 内容はいかがでしたか

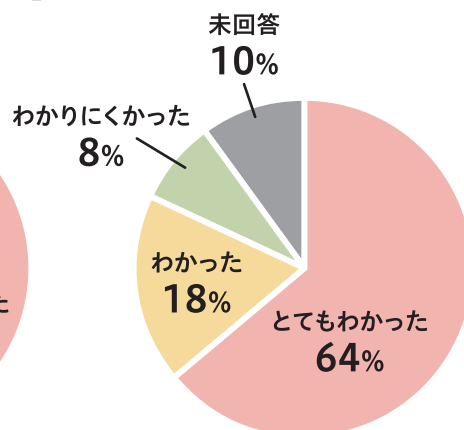
①「肝がんってどんな病気？」



②「知ってますか？ 肝がんのカテーテル治療」



③「ここまで進んだ肝がんの手術？」



Q. ご要望やご意見など

- 真面目すぎず、とても面白く受講できました
- 日々、肝臓ガン治療が進歩していることがよくわかり、大変勉強になりました
- 県外に住む家族でも視聴ができるWEB講座があるのは大変良いと思いました
- とても分かりやすく参考になりました。再発しない方法はないそうですが、発症しにくい傾向などあれば知りたい。地域に信頼できる病院があり、安心できました
- カテーテル治療および手術による5年以上の生存率の統計がありますか。治療別の生存率数の資料があれば、今後に加えてもらいたい
(→日本肝臓学会が発行している肝がん白書や、日本肝癌研究会が行っている原発性肝癌追跡調査報告などをご参照下さい)
- B型肝炎訴訟について知りたい
(→厚生労働省のホームページに詳しく紹介されていますのでご覧ください)

かかりつけ医相談について

当院では、症状が安定された患者さんには、近くの診療所の中でご自分にあった「かかりつけ医」を決めていただくようお願いしております。

「かかりつけ医」をお持ちでない患者さんには、ご希望の地域にある医療機関をともに探す窓口「患者相談窓口」が2階にありますので、ぜひご利用ください。



患者相談 窓口

場 所	2階患者支援センター受付
対 応 時 間	月曜日～金曜日 9:00～17:00（土・日・祝日及び年末年始を除く）
担 当 者	看護師・医療ソーシャルワーカー

吸入薬をうまく使いこなす

上手な吸入は、薬の作用を高めます

携帯する吸入器は大きく分けて、2種類にわかれます。

粉タイプ 吸入器の中に「粉」の薬が入っています。吸入した時、口の中に粉が入ってくるタイプです。

霧タイプ 吸入器の中に「霧」の薬が入っています。吸入した時、容器から霧が出てくるタイプです。

それぞれタイプ別の吸入をうまく行くと、薬の作用を最大限に発揮させることが可能です。

実際の吸入方法のポイント（4ステップ①▶②▶③▶④）



STEP 1

1回分をセット

最初だけ、（慣れるまで）手伝って頂ける方がいれば、サポートしてもらいましょう。



STEP 2

吸入器をくわえる前に、息を吐く

STEP 3

粉タイプ

うどんをすする様に
一気に吸う

STEP 3

霧タイプ

ボタンを押すと同時に
ゆっくり（3秒ぐらい）吸う

STEP 4

5秒間、息止めを行う

注意 点

薬に「ステロイド」という成分が入っている場合は、最後にうがいをして、口の中を洗い流しましょう。

また「ステロイド」が入っている吸入は、食事をする前に吸入することをお勧めしています。

「ステロイド」が入っているかどうか不明な場合は、主治医か、薬剤師にお尋ね下さい。



\ インタビュー連載企画 /

「にしこうべ」のご紹介



当院ホームページでは、院内の様々な職種の方にお話を伺うインタビュー企画「にしこうべ」を連載中です。最新号では、心理士の方々にお話を伺いました。



Q. 心理士とは？

臨床心理学にもとづく知識や技術を活かし、人の心の問題にアプローチする心の専門家です。医療、教育、産業、福祉、司法など、さまざまな領域で活動しています。当院では、心理士の全員が、国家資格の公認心理師と日本臨床心理士資格認定協会認定の臨床心理士の両方の資格を取得しており、症状の緩和や心の悩みを抱えた方への心理面の支援を行っています。

Q. どんな業務をしているの？

心理士の業務は、外来での業務と病棟での業務に大きく分かれ、割合としては半々くらいです。悩みやおつらさには様々なものがありますが、それらに直面し心理的援助を求めておられる方に、医師の指示のもと、心理検査やカウンセリング・心理療法を、それぞれの方の状況や年齢、ご希望に応じて実施しています。チーム医療の中で、多職種と協働し、間接的なサポートを行うこともあります。

Q. 患者さんとの関わりで心がけていることは？

目の前の患者さんと向き合い、患者さんの話をしっかり聞くことを大切にしています。患者さんの気持ちが少しでも和らいだり、問題解決に繋がるきっかけとなり、次もまた相談できる場所として思い出していただけたら嬉しいです。

「にしこうべ」記事完全版は、当院ホームページ「広報」コーナーにてご覧いただけます。ぜひご一読ください！

にしこうべ Vol.26

『心理士としてつらい気持ちに寄り添い、
安心してもらえる存在に』



完全版は
こちらから